

育英学院創立 75 周年式典特集号

育英学院同窓会報

発行人 育英学院同窓会 会長 藤谷 宏
事務局 町田市小山ケ丘 4-6-8 サレジオ高専内

育英祭 10.29 (土) ~30 (日) 10AM~4PM

今年も駐車場用意できません・・・JR 橋本公共駐車場をご利用ください。

育英学院同窓会 2011-12 年度定期総会 (兼評議員会) 4PM~学校食堂

高専 44 期生 Coming Home Day 2011.10.29 6PM~八王子フラザホテル

育英学院創立 75 周年記念誌・記念式典・祝賀会スナップ集

平成 22 (2010) 年 11 月 14 日 サレジオ高専 (町田)



卒業生座談会集合写真 (記念誌)



卒業生座談会全景 (記念誌)



卒業生座談会 (記念誌)



後方から司会者・校長・副校長を望む (記念誌)



教職員座談会（記念誌）



教職員座談会（記念誌）



当日正門（記念式典）



当日受付（記念式典）



理事長挨拶（式典）



記念ミサ会場（式典）



記念ミサ溝部司教司式（式典）



来賓（町田市副市長）挨拶（式典）



来賓校内見学（見学）



来賓校内見学（見学）



祝賀会来賓挨拶（祝賀会）



ヘンドリックス元校長（祝賀会）



懇談（祝賀会）



懇談（祝賀会）



乾杯（祝賀会）



懇談（祝賀会）



卒業生の集い（同窓会）



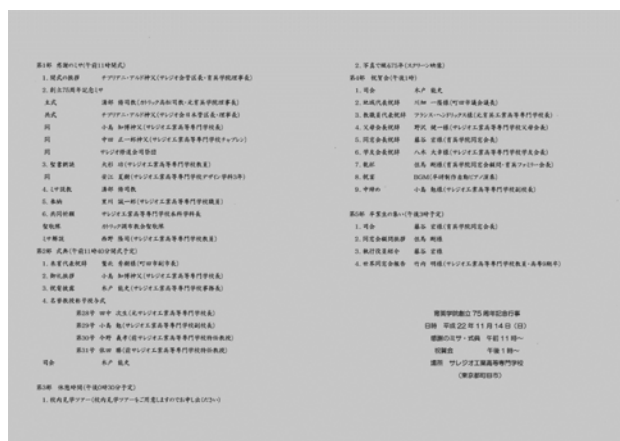
同窓会長挨拶（同窓会）



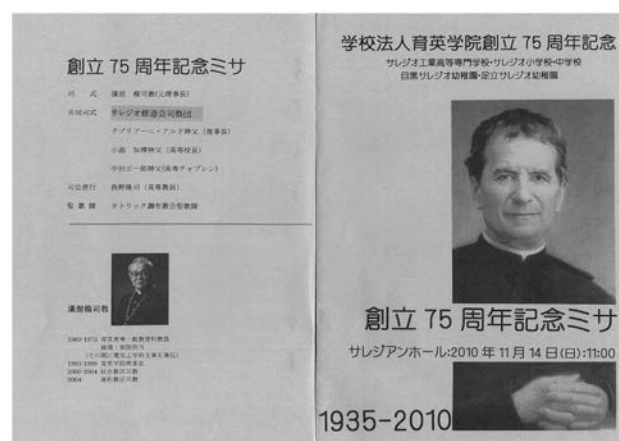
サレジオ世界同窓会報告（同窓会）



竹内先生世界同窓会報告（同窓会）



式典・祝賀会式次第（式典）



記念ミサ式次第（式典）



Salesio 時計（記念品）



75周年記念誌（記念誌）

平成 22(2010)年 11 月 14 日、東京町田市のサレジオ工業高等専門学校において学校法人育英学院創立 75 周年の記念式典と祝賀会が開催されました。育英学院は 1935 年杉並の地にチマッティ師の尽力により開校、育英工芸学校として最初の生徒を迎えました。戦後学制改革により工業学校から中学、工業高校に改組、さらに昭和 38 年育英高等専門学校（現在サレジオ工業高等専門学校に改称）に昇格して今日にいたります。その間、小平のサレジオ小中学校、目黒、足立のサレジオ幼稚園を法人内に置き、現在は幼小中高専として発展しています。

周年行事は基本的に 25 周年、50 周年と開催され、昨年 2010 年が 75 周年に当り、高専の事務長を中心に主だった教職員により準備のためのプロジェクトが 2009 年にスタート、当初は記念誌の編纂を中心に、昨夏からは式典の準備を行いました。当日は天候にも恵まれ 10 時過ぎから、地域、大学、企業、同窓生、現元父母、現元教職員、在校生などおよそ 300 人余の参会者で受付は賑わいました。午前 11 時からチプリア二法人理事長の挨拶、続いて溝部司教主式、サレジオ会員多数の共式により、カトリック調布教会聖歌隊の美しい歌声のもと創立記念ミサが行われました。後に参会者から他の創立記念式典にない感動的な式であったと感想を頂きました。

続いて高専キャンパスの見学ツアーを行い参会者に学校内外を見ていただき、きれいな校舎、立派な設備に感心したとコメントがありました。午後 1 時より学生食堂において祝賀会を開催しました。OBOGや父母や学生達が互いになつかしく語り合う一時を過ごしました。

午前の式典では鷺北町田副市長が来賓代表として、午後には川畑町田市議会議長が地域を代表して祝辞を述べられました。祝賀会後は別室で卒業生の集いが開催され 70 名余が集まり同窓会長、同窓会顧問の挨拶、世界サレジオ同窓会にマリオ神父、鳥越神父と一緒に出席した竹内准教授の写真報告を行いました。この席には昭和 16 年旧制卒業の川本さんも出席されていました。

75 周年記念誌の卒業生座談会と教職員座談会風景、記念式典当日の受付、記念ミサ、校内見学、祝賀会、卒業生の集い、式次第、記念品、記念誌からスナップをまとめて掲載しました。

同窓会の執行役員、理事、評議員、周年幹事会、卒業生父母会員など多くの皆様の協力で無事終えることができました。サレジオ会、高専ともこの時期いろいろな周年行事を迎えています。

2009 年 サレジオ会創立 150 周年

2010 年 育英学院創立 75 周年

2013 年 サレジオ（育英）高専昇格 50 周年

2015 年 ドン・ボスコ生誕 200 周年

ドン・ボスコ聖遺物が来日 サレジオ高専にも やってきた サレジアン・ホールにて 2011. 2. 16

本校の創立者ドン・ボスコの生誕 200 周年を迎える 2015 年までその聖遺物（腕の骨）が全世界を巡回している。去る 2011 年 2 月 2 日から 18 日まで日本を訪れた。16 日には本校に来校され、サレジアン・ホールで全学生を対象に式典を行った。学生たちにとっては創立者の話はよく聞いているものの今ひとつ実感がなかったが、この機会にそのような聖人が実在し、全世界 129 カ国に彼の後継者が 2350 の学校で 16000 人も働いているという事実にあらためて意識を高めた。以下にそのパンフレットを紹介する。



聖ヨハネ・ボスコが世界中をめぐり、日本にやって来る!

聖遺物巡礼とは

サレジオ会創立 150 周年の記念行事、ドン・ボスコの聖遺物はイタリア・トリノを起源とし、2011 年のドン・ボスコ生誕 200 周年までの 6 年を、世界中をめぐる巡礼として行われます。世界のキリスト教の中心地であるイタリア・トリノを起源とし、2011 年のドン・ボスコ生誕 200 周年までの 6 年を、世界中をめぐる巡礼として行われます。その中で 2011 年 2 月、ドン・ボスコの聖遺物は日本にやって来ます。日本から東京まで、サレジオ会員の教会や学校などを通り巡ります。



日程	巡礼の日程	巡礼の日程	巡礼の日程	巡礼の日程	巡礼の日程
2月2日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月3日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月4日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月5日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月6日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月7日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月8日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月9日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月10日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月11日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月12日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月13日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月14日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月15日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月16日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月17日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ
2月18日	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ	トリノ

当日セレモニー



育英杉並サイテックで 育英学院同窓会 理事会開催される 2011. 9. 3

9月3日に 2011-12 年度育英学院同窓会理事会の招集が以下の様に理事に通知された。

2011-12 年度理事会開催通知

育英学院同窓会

理事各位

育英学院同窓会長 藤谷宏

節電下の暑い夏を迎え、皆様いかがお過ごしのことでしょう。昨年来、75 周年事業、義援金募金事業と例年にないことで皆様にはご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年は隔年開催の定期総会（兼評議員会）開催の年です。それを前にして下記の通り理事会を開催いたしたく、理事の皆様のご出席を賜りたく存じます。現在の理事総数 48 名につき定足数は 16 名以上となります。ご欠席の場合は必ず返信の出欠票・委任状に署名、捺印をしてご返送ください。ご出席の場合は署名のみで結構です。

日時 2011 年 9 月 3 日（土）午後 2 時～

場所 サイテック育英（杉並） 元育英高専左隣

議題 2009-10 年度事業報告、決算

2011-12 年度事業計画、予算

執行役員他選任

2011. 10 育英祭時定期総会（兼評議員会）

同日開催 44 期卒業生 Coming Home Day

その他

発信 育英学院同窓会事務局（サレジオ高専内）

招待 顧問、相談役の皆様高所からの助言を頂ければ幸いです

開会挨拶（同窓会長）

1. 資料配布と成立確認（事務局長）

2. 理事紹介（自己紹介）

3. 議案審議

第 1 号議案 定期総会開催

第 2 号議案 09-10 年度事業報告と決算報告
監事による監査報告

第 3 号議案 11-12 年度事業計画と予算審議

第 4 号議案 執行役員の改選（再選を含む）

第 5 号議案 44 期生 CHD 企画支援

第 6 号議案 高専 50 周年、DB 生誕 200 年
記念寄付金事業

審議経過報告

同窓会理事会議事録

平成 23(2011)年 9 月 3 日(土)午後 2 時より、杉並において育英学院同窓会 11-12 年度第 1 回理事会が開催された。名誉会長のヘンドリックス先生を始め 14 名の理事の出席のもと欠席委任した理事 14 名の委任状を加えて 28 名により理事会は 1/3 超出席、成立開会した。以下の通りである。

出席名誉会長 ヘンドリックス先生

出席理事 小熊坂満邦（中学）、加藤多津生、依田勝、木戸能史（工高）

藤谷宏、林紹溢、近松秀明、川島幸子、河村英和

高橋正志、杉原文治、土井秀元、由良公一、松永徹、（高専）

出席監事 生田目彰久（工高）、委任監事西村春夫（高専）

委任理事 川本昇正（旧制）

三上喜久雄、空閑晋（工高）

小澤護、井上忠昭、平井賢一、樋代雅次、廣山信朗

中川博之、奥山勇人、奥山義人、大杉功、加戸隆士

田口正幸、手塚圭太（高専）

委任顧問 但島剛、高村昌利、山田功、伊藤勝、柳田國夫

委任相談役 大沼哲郎、小林弘治、野澤忠義、桂嶋博明

横山東太郎、早足武夫

第 1 号議案 定期総会(同時評議員)開催

平成 23(2011)年 10 月 30 日(日)の午後 4 時、育成祭終了後、学生食堂（2F）で 11-12 年度総会を開催することを了承した。ここでは 09-10 年度の事業報告、決算報告、11-12 年度の予算、執行役員の改選（再選）などが同時開催の評議員会とともに審議されることになる。

第 2 号議案 09-10 年度事業報告と決算報告

本会報の次ページに掲載されている決算報告とともに審議された。かつて同窓会の財政危機が叫ばれた当時に比べると繰越金は順調に増加傾向にあり、今後何かの活動のために基金化することができる見通しになっている。しかし一方で活動面が活発であったかどうかということにもなることを反省。さらに同窓会員の会費納入の推進についてこれは郵便振替、銀行振込以外の方法も模索しているが経費負担等で困難な状況から学園祭時、ファミリー会時の受付で同時徴収ということも検討する。なお事業報告、決算とも了承された。

第 3 号議案

11-12 年度事業と予算

11-12 年度の事業については基本前期と同様である



が、以下のいくつかの事業が検討された。

- (1) 「育英ファミリー会さくらの会」継続支援
- (2) 44 期生 CHD(謝恩会代替) 企画の推進支援
- (3) デザイナーズフォーラム(TOP10) 企画推進
- (4) グラフィックの会支援
- (5) 在校生活動(クラブ等) 支援
- (6) 奨学生支援の可能性検討
- (7) 学校法人(高専) による寄付金募金への協力

なお(2)の44期生以降のCHDについては育英祭時の「卒業生の集い」にその年の卒業生を招待することとした。

第4号議案 執行役員改選(再選を含む)

今回の評議員会・定期総会では一部執行役員改選の時期にあたるが会長1名、副会長6名、理事35名、監事2名から執行役員(候補)については以下の通りである。

- 新顧問 藤谷宏(高専7期) 就任
 新会長 林紹溢(高専6期) 新任候補
 副会長 奥山勇人(高専9期) 再任
 近松秀明(高専7期) 再任
 川島幸子(高専31期) 再任
 副会長 河村英和(高専1期) 新任候補
 由良公一(高専22期) 新任候補
 廣野あや(高専31期) 新任候補
 副会長 東学(高専25期) 退任
 戸田秀一(高専10期) 退任
 監事 生田目彰久(工高11期) 再任
 西村春夫(高専2期) 再任

新任役員は総会(評議員会)において選出承認される予定である。

第5号議案 高専44期生のCHD44 開催

校長から去る2011年3月に卒業した高専44期生について大震災の影響で謝恩会を予定していた会場(ホテル)から辞退があり、やむなく謝恩会を中止することになったので、これに代わって学園祭の時期に44期生のためにCHD(Coming Home Day)を開催してほしいという申し出が校長からあった。これについて提案承認された。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 開催予定日 | 2011年10月29日(土) |
| イベント | Coming Home Day 44 |
| 時間 | 午後6時～ |
| 会場 | 八王子プラザホテル |
| 招待 | サレジオ高専44期卒業生
卒業時学科長・5年担任 |
| 一般参加 | 5000円 |
| 幹事団 | 44期生評議員+CHD幹事 |
| 主催 | 育英学院同窓会 |

第6号議案 ドンボスコ生誕200年・高専昇格50周年記念募金(仮称・寄付金募集)

学校法人育英学院を母体として標題の寄付金募金について協力要請があり、これについて審議した。

2013年には高専昇格50周年、2015年にはドン・

ボスコ生誕200周年を迎えるに当たって、高専の設備更新、教育研究充実のためのご芳志を賜りたいとの学校法人ならびにサレジオ高専校長から要請があり、これに同窓会として協力することとした。具体化は年明けになる模様で以下は今後検討される事例案である。事業が決定されると別便で協力をお願いを学校法人から発送する予定である。

設備更新事例

1. 電気工学科マシニングセンター
2. 応用技術センター工作機械設備群
3. 野尻湖施設の更新
4. 3D-CADCAMシステムの導入
5. その他

教育研究事例

1. 教員研究活動支援
2. 奨学制度支援
3. プロジェクト活動支援
4. その他継続支援(教育研究後援会制度設立等)

第7号議案

上記以外の提案について審議し、取り扱いを執行役員に一任した。

平成 21(2009)年 9 月から 平成 23(2011)年 8 月まで 事業報告と会計報告 (事業担当副会長・会計担当副会長)

事業報告

2009(21)年

11月1日 定期総会・懇親会(於サレジオ高専)

2010(22)年

- | | |
|--------|----------------|
| 01月16日 | 定期公演(吹奏楽) お祝い |
| 03月19日 | 同窓会紹介(於卒業式予行) |
| | 1. 同窓会説明 |
| | 2. 会員名簿2010頒布 |
| 03月24日 | 第43回卒業式(会長他出席) |
| 03月27日 | 育英ファミリー会(杉並)支援 |
| 04月下旬 | 75周年プロジェクト発足 |
| 06月06日 | キャリアデー支援 |

執行役員会

1. 75周年記念幹事会
 2. 同日卒業生の集い
 3. 育英ファミリー会後援
 4. 部活動、留学生支援
 5. その他
- | | |
|------------|-----------------------|
| 07月10日 | 故平山吉晴先生を忍ぶ会(杉並) |
| 08月15日 | ヨハネ・ペトラッコ元高専校長逝去(90歳) |
| 08月25日 | 75周年幹事会発足・同窓会長呼びかけ |
| 09月01日 | 同窓会報・75周年お知らせ等発送 |
| 09月25日 | 執行役員会 |
| 10月30日—31日 | 育英祭・75周年申し込み受付 |

10 月 31 日	75 周年幹事会開催 (町田)
11 月 14 日	育英学院創立 75 周年記念式典・祝賀会 卒業生の集い (All Coming Home Day)
2011(23)年	
01 月 15 日	相模原市民会館 (初の) で定期公演
03 月 11 日	東日本大震災発生 (午後 2 時 46 分)
03 月 18 日	卒業式予行 (中止)
03 月 26 日	育英ファミリー会 (中止)
03 月 24 日	第 44 回卒業式 (会長出席・学校開催) 同謝恩会中止 (ホテル側の事情で)
06 月 04 日	キャリアデー講師謝礼支援 執行役員会
	1. 定期総会 10.30 (学園祭)
	2. 理事会 9.3 開催
	3. 役員改選・再選
	4. 2011-12 事業立案
	5. 75 周年・義援金事業報告
	6. 44 期生 Coming Home Day 企画
	7. 寄付金要請協力
07 月 10 日	44 期生評議員・クラス幹事会開催
08 月 31 日	09-10 年度決算
09 月 02 日	監査
09 月 03 日	11-12 年度第 1 回理事会 (杉並)
10 月 29 日	44 期生 Coming Home Day (CHD44) 開催
10 月 30 日	定期総会 (評議員会)・卒業生の集い開催

決算報告 (2009. 9~2011. 8)

収入の部

1. 前期繰越金 (世界同窓会積立金)	6, 263, 374
2. 同窓会入会金 (43-44 期生)	3, 432, 000
3. 同窓会員年会費	646, 000
4. 雑収入 (利息等)	80, 562
5. 預かり金収入	3, 105, 480

収入小計

1. 前期繰越金	6, 263, 374
2-4. 当期収入計	4, 158, 562
5. 預かり金収入 (75 周年、義援金等)	3, 105, 480

収入合計 13, 527, 416

支出の部

1. 総会開催費 (09-10 年度)	54, 410
2. 名簿発行費 (43, 44 期生)	267, 330
3. 会報発行費	819, 735
4. 発送委託費 (同窓会負担分)	686, 261
5. 会合費 (同窓生の集い他)	208, 270
6. 一般事業費 (恒例事業等)	581, 336
7. 特別事業費 (75 周年他)	637, 014
8. 会議費 (執行役員会・理事会)	15, 164
9. 事務用品費 (封筒、用紙等)	89, 177
10. 通信送料費 (切手等)	288, 206

11. 交際費 (祝儀等)	30, 000
12. 慶弔費 (祝電、弔電、花料)	87, 419
13. 旅費交通費 (世界同窓会派遣)	226, 740
14. 支払 (払出) 手数料	43, 590
15. 預かり金支出計	3, 105, 480

支出小計

1. 当期支出計	4, 034, 652
2. 預かり金支出	3, 105, 480
3. 次期繰越金	6, 387, 284

支出総計 13, 527, 416

現預金残高証明

1. 定期預金残高 (23. 8. 31)	5, 914, 057
2. 普通預金残高 (23. 8. 31)	300, 052
3. 郵便振替口座 (23. 8. 31)	2, 880
4. 現金	170, 295

監査報告 (平成 23(2011)年 9 月 1 日)

当監事兩名は、平成 21(2009)年 9 月 1 日から平成 23(2011)年 8 月 31 日までの「育英学院同窓会会計報告」について、同会より提出された同期の活動報告に基づき、予算の執行状況と入出金台帳の記載内容および、伝票、領収書について照査を行った結果、今期の会計報告書は記載すべき事項を正しく示していることを監査の上、報告いたします。

育英学院同窓会監事 生田目 彰久
同 西村 春夫

予算案 (2011. 9~2013. 8)

収入の部

1. 前期繰越金	6, 387, 284
2. 入会金収入 (45-46 期)	3, 564, 000
3. 会員年会費収入	600, 000
4. 雑収入 (利息)	3, 000

収入合計 10, 554, 284

支出の部

1. 活動支出小計	
年報、会報発行費	1, 600, 000
一般事業 (総会、育英ファミリー会等)	700, 000
特別事業 (CHD44etc)	700, 000
2. 事務局経費	700, 000
3. 予備費	300, 000
当期支出小計	4, 000, 000
次期繰越金 (予定額)	6, 554, 284
支出合計	10, 554, 284

年会費の納入お願い
卒業 5 年後から（高専 38 期以前）
同窓会事務局

卒業 5 年後以降、2 年ごとに会費を 4000 円お願いいたします。納付状況は宛名下の数字の見方の説明です。

194-0215
町田市小山が丘 4-6-8
育英 太郎様

年 0000000000111111111
度 01234567890123456789
NN23456- 会員番号 X01EE12

年度は 2000(00)年度から 2019(19)年度まで表示しています。その下の記号は

数字：納付がすんでいる年度

N：納付が不要の年度

—：未納の年度

今年は 2011-12 年度の 2 年分をお願いします。

恒例キャリアデー
サレジオ高専で開催
2011. 6. 4

本高専が育英高専であった数十年前からその特色ある伝統となっている卒業生有志による後輩（高専 4 年生）を対象としたキャリアガイダンスが 2011. 6. 4 に町田の高専で開催された。

昼食懇親会では校長の謝辞、同窓会長挨拶、卒業生講師の講評と続き、懇談した。昨年来の厳しい就職戦線は今年の大震災の影響



もあり先行きさらに不透明になっていること、学生も不安感が募るなか真剣に対応した。

講師の皆さんは以下（順不同）の通り。

デザイン学科 (株) 等省略

40AD 宮澤 優強 タチエス

42AD 秋葉 望 日立工機

42AD 中村崇志 パクスバーナ・ゼノア

42AD 菊本浩一郎 日創工芸

41AD 土方和樹	三越環境デザイン
40AD 安島俊介	三越環境デザイン（欠席）
42AD 深澤翼	三越環境デザイン
43AD 安藤晶	DNP メディア・アート
43AD 田中彩夏	東洋製罐
43AD 原小百合	武蔵野美術大学
43AD 久保田一平	武蔵野美術大学
43AD 田中琢也	多摩美術大学
29EE 磯野昭弘	日本電設工業
34EE 羽深藍	本田技術研究所
37EE 杉浦敦徳	インフォマティクス
39EE 白石悠馬	日本貨物鉄道
41EE 中山雄希	横河フィールド・エンジニアリング サービス
39EC 木村大輔	森永乳業
39EC 小島巨	ULJapan
40EC 風間飛鳥	東海旅客鉄道
41EC 原祥之	電気通信大学大学院
42EC 野部裕介	東京電機大学大学院
31CS 高津健	NTT コミュニケーションズ
26CS 岸川雄一	パナソニック電工電子材料販売
40CS 村松薫	東芝システムテクノロジー
41CS 森本裕介	パイオニア
41CS 奥山耕平	工学院大学大学院

当日義援金にもご芳志を賜りました。ありがとうございました。

高専電気 1 期生
待望の同期会を開催
新宿歌舞伎町にて
2011. 2. 6

去る 2011 年 2 月 6 日(日)午後 1 時から新宿歌舞伎町にある ROUMANTEI というお店を貸し切りにして高専電気（電力・電子）1 期生の同期会が開催された。1 期生もグループごとの親交はあったものの同期会としては 3 回目であったが、卒業以来 40 数年ぶりという再会もここにみられた。恩師も石川日出夫、尾池康夫、依田勝諸先生、同窓会・学校から木戸能史が出席し、旧交を暖めた。学校からは育英創立 75 周年の歴史を辿る DVD の紹介、同期の仲間野原氏からの内陸エビ養殖事業の紹介など大いに盛り上がった。終了後 2 次会、3 次会、n 次会へと繰り出した。以下に会場のスナップを紹介する。

現在同期会は河村英和さん（電力）、道善邦雄さん（電子）を中心に活発に活動している。



高専電気工学科 1 期同期会

工高印刷 6 期生 恒例の育英九月会集合写真

空閑晋氏提供

2009 年と 2010 年に開催された九月会の集合写真を空閑晋氏から提供された。恩師の中村先生、榎本先生のお姿も見え、09 年には生前の平山先生がおられる。また故人となった卒業生の夫人（前列女性）も参加している。



2009 年 9 月会合



2010 年 9 月会合

工業デザイン学科 9 期クラス会 中村先生とヘンドリックス先生を 囲んで 2011.7.31

育英高専、工業デザイン科 9 期のクラス会を 7 月 31 日（日）「サイテック育英（杉並）」にて開催しました。あわせて中村皓一（英語）先生の傘寿を祝う会をかねて召集し、25 名の参加がありました。入学して 40 年、会えばみな学生時代に戻ります。とても楽しい 3 時間でした。学校からも同期の竹内デザイン学科長、杉並当地からヘンドリックス元学科長・校長先生が参加され、往時と変わらない元気なお姿に皆びっくりしました。サイテックの稲葉さんにもお世話になりました。（幹事 奥山勇人）



「帝国ホテルの不思議」 日本経済新聞社出版社刊 椎名行弥常務執行役員（工高 16 期） 2010. 11 刊

村松友視（作家）によるノンフィクションで帝国ホテル総支配人をはじめとした従業員 30 人を取材し、それぞれの仕事観が述べられる。如何にお客様のために心地よい空間を提供するか、そのためにすべての部署の従業員がシステムチェックに働いているかが・・・

1 階奥の靴磨き職人から支配人まで、最終ページに登場する施設・情報システム担当の椎名行弥氏が育英工高 16 期卒で、実は編集している私（木戸）の中学・工高の同期でもある。電気係で入社して常務執行役員にいたる歴史が語られている。一読すべき本である。学校の図書館に寄贈してある。

88.206

<http://www.e-hon.ne.jp/bec/SA/Detail?reflSBN=4532167620>

<http://www.asiax.biz/column/books/182.php>

イタリアだより・・・**フライダルコンサルティングと
革製品のトレーディング****篠田（金田）三枝子（高専 30 期 GE）**

篠田（旧姓金田）三枝子さんは卒業後、縁があってイタリアに移住され、現在フライダルコンサルタント（イタリアでの結婚式等のお世話）をしながら、イタリア製オリジナルブランドの革製品を紹介されています。それは 1972 年ジャンカル

ロ・ガレッティ氏が創業されたブランド「ガレッティ&カルリーニ」という革バッグを主に製作、輸出しているものです。特に北イタリア・フローレンス



地方のチャンティを中心に活動しています。日本にもジョイントしているサイトがあるようです。製品の一部を紹介しましょう。関心のある方は以下のメールアドレスにどうぞ

ranocchie.mie@hotmail.it（Mieko Kaneda）

放射線防護学の専門家**高田純教授（札幌医科大）****高専 8 期卒 新聞紙上・出版で活躍**

75 周年記念誌にも寄稿いただいた札幌医科大の高田純教授が喜んでいいのか、このたびの原発事故でご活躍です。広島大におられたころから放射線防護学を専門とされ、特に旧ソ連、中国における核実験場の広域被害を疫学的に調査され、隠された被害を立証された科学者です。記念誌でも書かれているように、原爆も原発も同じように公開されない被害や隠蔽など問題点がともに多くあることで共通点があります。今回の新聞紙上等でのコメントや出版などを「高田純」で検索してください。

最近、幻冬舎ルネッサンス新書で「放射線から子どもの命を守る」800 円というわかりやすい解説書が新刊で出ました。店頭で聞いてください。好評です。（編集）

東日本大震災 義援金募金**サレジオ高専 2011.4-6****ご協力・ご支援ありがとうございました**

2011.3.11、この日から何かが変わった、といわれます。当日は進級判定会議で学生は 100 名ほどしか在籍していませんでしたが、帰宅不能になって宿泊した学生が 30 名ほどに達しました。そのため緊急マニュアルも改訂の方向です。また放射線測定器による校内測定値も 6 月 3 日の午後 3 時で校内各所で 0.07~0.14 $\mu\text{Sv/h}$ 、年間 1mSv 未満でした。さらに節電対策も前年ピーク時の 15%削減ということで梅雨明けの授業の短縮や臨時時間編成を実施しています

4 月に入って義援金について検討し、ホームページにも掲載してありますが、以下の特定団体に送金することになりました。4-6 月の 3 ヶ月間、卒業生、その父母、在校生の父母、教職員に呼びかけ以下の金額を送金できました。

国立高等専門学校機構災害支援の会

4 月 30 万、5 月 18 万、6 月 10 万

仙台、一関、福島、茨城など被災、避難を含めて延べ 1000 世帯の被災者を支援している。

カリタス・ジャパン（端数略）

4 月 30 万、5 月 18 万、6 月 7 万

東北 6 県を管轄するカトリック仙台教区を中心に地域被災者の支援基地になっている教会を支援していて、サレジオ会からも浜松支部の深川先生（元デザイン学科長）が現地支援に派遣されている。同窓会では 4 月末から募金をお願いし、以下の卒業生、その父母の皆さんから寄金を頂いた。（順不同・敬称略）河村英和、織田京子、金田眞佐子、小澤護、伊達由美子、藤谷宏、空閑晋、三坂伊那、片野保子、大杉功、川崎哲郎、稲垣季枝、木下靖子、秋竹靖直、平原公子、福地通治、豊田ひろみ、木戸能史、深海正洋、工高印刷 6 期、石川恵美子、土方森俊、但馬剛、桂嶋博明、林紹溢、渡辺衛、星野忠広、近松秀明、小池豊和、松森好、川本昇正、葛西裕生、小泉孝久、佐伯桂子、小山嘉代子、加賀崎久・和子、キャリアデー講師一同、縫島俊一、岡庭秀雄、野沢正代、松永徹、須々木とし枝、瀧本禎紀、竹下正人、中村徳子、在校生父母・教職員有志（6 月末まで内同窓会現金拠出 4 万）学校としても同窓会としても本当に感謝します。ありがとうございました。

聞くところによると大学コンソーシアム八王子が募集した被災地支援ボランティア事業に応募した 4 年生が若干名いるとのことである。